

# 進むべき道はいつも目の前にある

12月16日(木) No.25

## 冬休みまでにしておくこと

私立高校入試まであと57日、公立一般選抜入試まであと85日となりました。

あと10日で冬休みになります。いうまでもありませんが、三年生にとってこの冬休みは高校入試直前のまとまった時間が使えるラストチャンスです。この17日間の冬休みを計画的に有意義に過ごせるかどうか、合否を分ける大きなポイントになります。

- まずは、①冬休み(17日間)で何を勉強するのか、計画をしっかりと立てる。  
②勉強する時間帯をきちんと決めて、毎日のスケジュールを立てる。  
③机の整理整頓をして、必要な教材(ノート、筆記用具も)を揃えておく。

などの準備をした上で、自主的に勉強を進めていきましょう。

## 冬休み、こう過ごそう！

冬休み、「何をしていいか」「どんなふうに勉強したらいいか」わからない人は、以下のアドバイスを参考にしてみてください。まずは、自分に出来そうなことからひとつずつ実践してみましょう。

### ①学校のワークを完全にやりきる

まだ手をつけていないページ、冬休みの宿題に指定されているページはもちろんですが、今まで提出のために答えを丸写ししたページをもう一度やり直しましょう。自分の弱いところを少しでも補強するのがこの冬休みの最も有効な使い方です。

### ②受験する学校の「過去問」をする

「過去問」でその学校の問題の傾向をつかみましょう。私立の赤本などでは、合格に必要な点数なども書いてあったりしますので、それを目標に頑張りましょう。

### ③時間を意識して勉強する

入試には必ず制限時間があります。入試直前のこの時期に、だらだらと同じ教科・同じ問題に時間をかけるのは、勉強法としてはお勧めできません。同じ教科は2時間まで、1つの問題は15分間だけというふうに時間を意識しながら取り組みましょう。

②の「過去問」をする場合にも、必ず時間を計って時間配分を考えながら解くようにしましょう。

**ガンバリます!!**



#### ④受験用の問題集（仕上げ用）を1教科1冊用意する

やたら分厚い問題集・難しい問題集をやる必要はありません。選ぶなら解説が充実しているものを選びましょう。解説が載っていなかったり雑だったりすると、結局分からないところがそのままになってしまいます。

#### ⑤間違いノート、質問ノートを作ろう

ワーク、問題集、過去問などで間違えた問題を1冊のノートにまとめよう。こうしておくとは分からない問題をそのまま放っておくこともなくなるし、休み明けに先生に質問しやすくなるはず。そして、質問の回答や自分で調べたことなどをノートにまとめておけば、入試直前にそのノートを見直すことで、最高のテスト対策になります。

## 【☆重要☆】私立高校の願書を取りに行きましょう！

進路懇談で私立高校の志望校が決まったら、いよいよ受験に向けての手続きです。まずは、私立高校の願書を手に入れないといけません。11月以降に説明会に行った人はその時にすでに願書をもっているかもしれませんが、そうでない人（今手許に願書がない人）は、冬休みの間に高校へ行って願書もらい、始業式の日担任に提出してください。

Web出願の人は、願書を取りに行く必要がありません！

## 冊子「進路決定のために」を活用しよう

11月の進路懇談で冊子「進路決定のために」を配布しました。この冊子は、松原市内の7つの中学校の進路担当の先生が集まって、みなさんの志望校選択・入試に向けての準備の手助けになればと思い作成したものです。進路決定をする上で前もって知っておくべきことは、ほぼ全てこの冊子に載っていますのでぜひ活用してください。

自分が受験しようとする高校の試験科目（私立高校）や、国・数・英の試験問題のタイプ、入試の点数と評定の倍率タイプ、合否判定の方法（公立高校）などは、少なくとも事前に確認しましょう。面接のある人は、39ページからの「面接の心得」を何度も読んでおいてください。

## 【保護者のみなさまへ】明日より進路懇談がはじまります

17日（金）～22日（水）に進路懇談を行います。今回は、私立高校の受験希望校を決める大切な懇談です。

気になっていることや不安に思っていることなど、担任の先生と十分ご懇談の上、進路決定していただきたいと思えます。事前に、ご家庭で相談したいことや質問したいことなどをよく話し合っておいてください。

